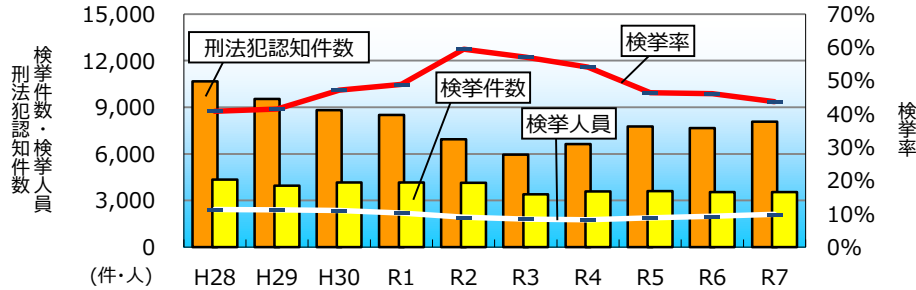


# 「令和7年長野県警察の運営重点と対策」推進結果

## 犯罪情勢



区 分	R4	R5	R6	R7	前年比
刑法犯認知件数	6,635	7,769	7,673	8,085	412
増減率(前年比)	+11.3%	+17.1%	-1.2%	5.4%	
検 挙 件 数	3,591	3,605	3,539	3,534	-5
検 挙 率	54.1%	46.4%	46.1%	43.7%	-2.4
検 挙 人 員	1,762	1,888	1,982	2,102	120

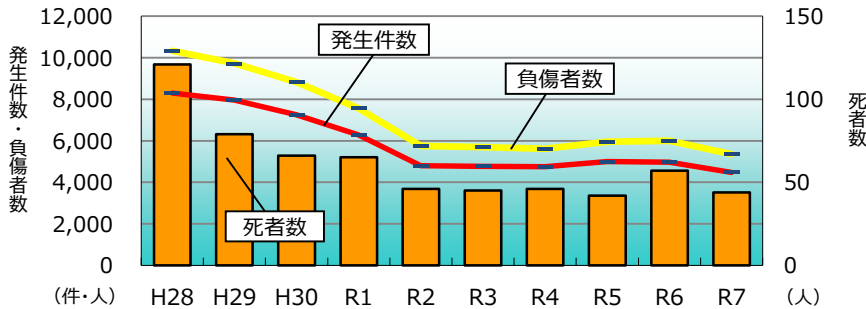
- 刑法犯認知件数は、6年ぶりに8千件を上回った。
- 電話でお金詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害は、認知件数・被害額ともに大幅に増加し、特に「ニセ警察詐欺」による被害が顕著

## 運営重点の推進結果

※ ( ) 内は前年比

1 総合的な犯罪防止対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>多発犯罪手口 (認知件数)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>万引き 1,323件 (+43件)</li> <li>自転車盗 1,353件 (+130件)</li> </ul> </li> <li>電話でお金詐欺 (特殊詐欺) 発生状況 (暫定値)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>認知件数 276件 (+52件)</li> <li>被害額 約17億3,399万円 (+約7億8,570万円)</li> </ul> </li> <li>SMS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (暫定値)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>認知件数 178件 (+37件)</li> <li>被害額 約21億1,547万円 (+約3億6,025万円)</li> </ul> </li> <li>人身安全関連事案発生状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ストーカー相談等件数 337件 (+16件)</li> <li>DV相談等件数 927件 (-11件)</li> <li>児童虐待通告児童数 1,094人 (-91人)</li> </ul> </li> <li>福祉犯検挙件数/人員 82件 (-2件)/47人 (-9人)</li> <li>生活環境事犯検挙件数/人員 279件 (-7件)/308人 (+10人)</li> <li>サイバー犯罪検挙件数/人員 156件 (-8件)/93人 (-8人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な防犯対策の推進及びSNS、インターネット、Web広告等のデジタル空間等を活用したタイムリーな防犯情報の提供による自主防犯活動を活性化</li> <li>高齢者等が犯罪グループからの電話を受けないための常時留守番電話設定や発信者番号表示サービス等の普及、国際電話不取扱受付センターへの申込推奨のほか、警察庁推奨アプリの普及促進等の携帯電話対策を推進</li> <li>人身安全関連事案における危険性・切迫性に応じた組織的対応の推進、部門間の適時的確な情報共有</li> <li>関係機関との連携強化等により生活経済事犯の早期把握と被害拡大防止に向けた対策を推進</li> <li>高度な情報技術を悪用し組織的に欺行されるサイバー事案や犯罪インフラに対する取締り及び適切な捜査・解析支援を推進</li> </ul>
2 県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>重要犯罪認知件数 121件 (-4件)</li> <li>検挙件数/検挙率 98件 (-3件)/81.0% (+0.2P)</li> <li>電話でお金詐欺 (特殊詐欺)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>検挙件数/人員 (暫定値) 59件 (-7件)/22人 (+3人)</li> </ul> </li> <li>重要窃盗犯検挙件数/人員 410件 (-208件)/64人 (+20人)</li> <li>暴力団犯罪検挙件数/人員 160件 (-141件)/152人 (+25人)</li> <li>薬物事犯検挙人員 80人 (+14人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な捜査管理と捜査状況に応じた緻密な捜査指揮による的確な捜査態勢の確立</li> <li>プロジェクトチームを活用した犯罪グループの徹底検挙と盗品流通経路等の遮断</li> <li>部門間の連携と情報共有による暴力団・特殊詐欺グループ、匿名・流動型犯罪グループ等犯罪組織に対する実態解明と取締りを強化</li> <li>薬物・銃器密売組織の壊滅に向けた情報収集強化と末端薬物乱用者の突き上げ捜査を徹底</li> </ul>
3 交通事故防止対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者事故発生件数 1,942件 (-138件)/構成率43.3%</li> <li>死者数 22人 (-10人)/構成率50.0%</li> <li>飲酒1当事事故発生件数/死者数 38件 (-7件)/2人 (-1人)</li> <li>交通違反検挙件数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒運転 464件 (+111件)</li> <li>横断歩行者妨害 2,324件 (+211件)</li> <li>携帯電話使用等 3,801件 (+803件)</li> <li>妨害運転 (いわゆる「あおり運転」) 2件 (-2件)</li> </ul> </li> <li>交通安全施設整備状況 (累計)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ゾーン30/ゾーン30プラス 122か所/3か所</li> <li>歩車分離式信号機 479基</li> </ul> </li> <li>65歳以上の運転免許証自主返納件数 7,132件 (+167件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の特性を踏まえた参加・体験・実践型の交通安全教育と交通事故実態に即した広報啓発活動を推進</li> <li>横断歩道におけるルール・マナーアップや自転車への交通反則通告制度の導入に伴う交通ルールの周知、ヘルメット・反射材の着用等、交通安全意識を高める交通安全教育・啓発活動を推進</li> <li>交通安全施設の戦略的なストック管理及びライフサイクルコストの低減の推進</li> <li>外国人の運転免許申請等における住所確認の厳格化の適正な運用及び制度の周知に向けた広報啓発活動等の推進</li> </ul>
4 テロ・大規模災害等危機管理対策の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>テロ等の未然防止に向けた管理者対策、テロ等対処訓練を実施</li> <li>災害対応能力等の向上のための実戦的訓練、防災関係機関との合同訓練を実施</li> <li>企業等に対する経済安全保障に係る取組を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テロ等の未然防止に向けた事業者等との緊密な連携と対処訓練の継続実施</li> <li>総合的な危機管理体制の点検・構築と防災関係機関との情報共有、合同訓練の継続実施</li> <li>激甚化・頻発化する自然災害に備え、装備資機材を充実強化</li> <li>技術情報等の流出防止対策のための支援等を継続的に推進</li> </ul>
5 治安情勢を的確に見据えた効果的な地域警察活動の推進	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>事件、事故の発生分析に基づく「見せる警戒活動」と職務質問による犯罪検挙を推進</li> <li>山岳遭難発生件数/遭難者数 358件 (+37件)/392人 (+42人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治安情勢に応じた実質的かつ効果的な街頭活動の強化による犯罪の抑止・検挙と管内実態把握を推進</li> <li>山岳遭難救助隊等の救助技能向上と迅速・的確な救助活動の推進</li> </ul>
6 県民の立場に立った積極的な対応	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>警察に対する相談受理件数 81,965件 (-13,846件)</li> <li>警察官採用試験受験者数 471人 (-56人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民からの各種相談等への誠実な対応</li> <li>情勢の変化に的確に対応するため、将来の警察のあり方を見据えた業務の合理化・効率化の推進</li> </ul>
7 警戒の空白を生じさせない組織体制の構築	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>警察に対する相談受理件数 81,965件 (-13,846件)</li> <li>警察官採用試験受験者数 471人 (-56人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民からの各種相談等への誠実な対応</li> <li>情勢の変化に的確に対応するため、将来の警察のあり方を見据えた業務の合理化・効率化の推進</li> </ul>

## 交通事故発生状況



区 分	R4	R5	R6	R7	前年比
発生件数	4,752	5,006	4,970	4,482	-488
死者数	46	42	57	44	-13
負傷者数	5,611	5,951	6,005	5,351	-654
重傷者数	476	511	545	522	-23

- 発生件数は4,482件と前年比-488件
- 死者数、負傷者数及び重傷者数についても減少
- 交通事故死者44人のうち高齢者数は、22人で全体の半数を占める。

### 長野県警察運営指針

県民とともにある力強く温かい警察  
～日本一安全・安心な信州をめざして～

